

令和2年度第2回鹿児島市地域福祉計画推進委員会 会議録（主な質疑等）

1 日時

令和3年2月9日（火）14:00～15:25

2 場所

市役所本館2階 講堂

3 出席委員

高橋委員長、園田委員、年永委員、今和泉委員、宮脇委員、北方委員、財部委員、藤田委員、宮竹委員、坂尾委員、吉國委員、田淵委員、有馬委員、米山委員、吉永委員、有村委員、川元委員、中村委員、益山委員、城崎委員、古河委員、山内委員、泉尾委員 23名

<オブザーバー>

市社会福祉協議会・地域福祉支援員 6名

4 事務局

鹿児島市地域福祉課ほか

5 議事

- (1) 市民アンケート調査結果
- (2) 民生委員・児童委員アンケート調査結果
- (3) 第5期地域福祉計画の骨子案（方向性）

6 主な質疑

- (1) 市民アンケート調査結果
- (2) 民生委員・児童委員アンケート調査結果

（委員）

市民アンケート調査結果について、地域で実施したアンケートと同じような結果が出ている。

（委員）

市民アンケート調査結果について、地区ごとの比較は出ているが、世代ごとにどのような違いがあるのか見てみたい。

（委員長）

年代別、家族形態別、性別などのクロス表もあると、そこから見えてくるものがある。

（事務局）

今後、世代別の分析を進めていきたい。

（委員）

アンケートのデータは貴重なものなので、例えば、町内会の加入の有無でどのように違うかなど、ある程度、技術を持った人が分析することによって見えてくるものがある。今後、どのように分析する予定か。

(事務局)

今後の分析は、事務局でデータを解析する予定である。

(委員)

自由回答の中に豊富な蓄積データが入っていて、このデータの分析の仕方によっては、意義ある結果が見えてきそうな気がする。事務局で分析するよりも、どこか大学の研究室などで分析など出来ないか。

(委員長)

自由回答の中から色々なことが見えてくる。次回8月の会議まで時間があるので、何回か意見のやりとりをしたい。少し研究者の視点を入れる必要がある。

(委員)

このアンケート結果は、まさに現状が出ている。自由回答の中には、町内会のことが多く出ている。役員の方は一生懸命、加入の努力をしているが、若い人から「町内会は何もしてくれない」という意見もあった。地域は、組織がないと動かない。町内会加入率が60%に満たない地域が多くある。地域福祉計画を進める上では、地域を動かす観点で考える必要がある。

(委員)

民生委員へのアンケートをスマホやタブレットでアンケートをする考えはなかったか。紙だと時間がかかるが、ICTを使うと早い。サンプル数は少なくともよいが、少しずつ民生委員の方々に協力いただくことが出来ないか。

(事務局)

民生委員の方々に対して、ICTを使ったアンケートは考えてない。民生委員の方々は、毎月の会合で、紙で伝達する仕組みが完成している。

(委員)

今回は、アンケート結果から何を読み取って、次期計画にどのようなことを盛り込んでいくかを協議する場である。

### (3) 第5期地域福祉計画の骨子案（方向性）

(委員)

参考資料3の次期地区計画の骨子案は、アンケート調査結果は踏まえているのか。

(事務局)

今回のアンケート調査結果も踏まえ、各地区で協議したものである。

(委員)

福祉分野の上位計画となるが、現計画と書きぶりや内容が変わるのか。また、成年後見制度利用促進基本計画と再犯防止推進計画は、別途、作成されたものが地域福祉計画に入ってくるということか。

(事務局)

現計画においても、地域福祉の施策だけではなく、高齢、障害、児童などの要素が入っており、現計画から内容が大きく変わるものではない。社会福祉法で具体的に上位計画と明記され、法が追いついたようなイメージである。再犯防止推進計画については、地域福祉課で、鑑別所や検察庁、保護司会などと話し合いをしながら作成し、皆様に提示し、パブリックコメントをしていく。成年後見制度利用促進基本計画についても、長寿支援課で協議し、皆様に提示していくことになる。

(委員)

成年後見制度利用促進基本計画については、すこやか長寿部内の担当課で作成するが、専門の方々に集まって頂く審議会で議論いただきながら、現状や課題、取組の方向性などを固めていく予定である。地域福祉計画の中の1章を頂く形になるので、この委員会の中でも意見を頂きたいと考えており、審議会の中でも、この委員会で出た意見を反映する形を取りたいと考えている。

(委員)

福祉分野の上位計画となるので、人権なども入ってくると思うが、ジェンダーに関する項目は入ってくるか。地域に根付いた考え方になってきており、社会も変革する中、ジェンダーについても項目に入れることができないか。

(事務局)

ジェンダーについて次期計画に盛り込むかどうかは、今後、検討させていただく。

(委員)

一番大事なのは、「命」であり「人生」である。福祉のポジションが高くないといけない。「命」、「人生」、「生きがい」というのが、基本理念に出てくるとよい。「命を守る福祉」、「あなたの人生のための福祉」など、ダイレクトな表現があるとよい。福祉の価値観が低いので、福祉の価値観が高いということを訴えないといけない。時代が変わるのではなく、時代を変える気持ちで訴えないといけない。

(委員)

児童虐待相談件数が増加しており、民生委員も苦労しているが、市はどのような防止策を行っているか。また、町内会加入率について、町内会加入促進モデル事業をやっているが、相当な実績が出ており、来年度以降も、この取組は続けていただきたい。

(事務局)

児童虐待相談件数については、面前DV（子どもの見ている前で、夫婦間で暴力を振るうこと）が最近増えており、子どもが目の当たりにして精神的にダメージを受けている件数が増えている。対応としては、予兆の部分で把握して相談機関につなぐなど、関係機関が連携する体制づくりに取り組んでいる。また、並行して児童相談所についても、人材育成も含めながら取り組んでいる。

町内会の加入促進については、担当課に伝える。